

阿智村学校のあり方検討委員会「最終答申骨子案」

第2回パブリック・コメント (意見公募)のまとめ

公募期間：令和7年9月22日(月)～令和7年10月21日(火)

公募件数：延べ 21人 44件

貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。
いただいたご意見をあり方検討委員会で共有・検討し、答申に活かしてまいります。
なお、阿智村のホームページにも掲載しますので、ご覧ください。

令和7年10月30日

阿智村教育委員会

1 最終答申骨子案について

1	C案が一番いいと思います。
2	C案がよいと思う
3	浪合学校の取り組みについてどのように検証されたか。
4	内容が整理されていてわかりやすい骨子案です。C案を基本方針とするという委員会の提言の趣旨がよく理解できました。私としても、その提言が妥当であると感じました。
5	P1 1 はじめにの文について、上から7段目「人口減少と財政…難しく」の文について、人口減少・財政については、下段で説明しているが、最も重要な教育環境について、阿智村が抱えている現状等、丁寧に説明することが必要に思います。
6	基本方針をC案とすることについては賛成ですが、小学校低学年のうちは小規模校できめ細やかな対応ができる体制も良いのでは?と思います。 地理的な課題もある地域(清内路や浪合)に対して、段階的にB案を取り入れるのも検討の余地があると思います。
7	C案が妥当との判断ですが、うちの子が義務化教育学校一本化体制になったら、大きな確率で不登校になると危惧しています。 理由は集団行動が苦手で、現在小規模校在籍でクラスの人数も少なく、そういった部分の配慮をもらっているため短時間でも通えています。だからこそ、そういった子どもも安心して学べる環境整備を進める義務があると感じます。 学びの多様化学校の制度としては期待をしていますが、まずは望まない不登校を生み出さない運営体制の強化、教育支援センターとの連携が大切だと考えます。さらに、学校への不安があれば、不登校になってしまう前から学びの多様化学校に通える選択肢も必要ではないでしょうか。 その場合に学びの多様化学校分教室や教育支援センターの設置場所や義務教育学校との連携方法など、実態に即した計画案を要望します。
8	子が浪合小に通っています。A・B案は、親から見て、子の教育環境として、現実的でない案だと思います。C案を希望します。
9	C案が現実的で子供たちの事が1番に考えられていると思うのでC案に賛成です。
10	自分の子供、浪合のことだけを考えるのではなくて、今いる阿智村全体の子供たち・これから生まれてくる子供たちに質の高い教育を受けさせてあげたい、地元の友達がいる環境にさせてあげたいという思いがありC案に大賛成です。
11	AIを利用して説明をしていたが、推奨していたC案になった時に、何か問題等が続発した場合などの説明時に、AIが導きだしたなどと責任転嫁をしようと感じ取れる。 交友、責任感、集団活動など、小規模では出来ない事を強調していて、小規模だからこそ出来る事を軽く扱っているように感じたし、20人学級が本当に良いのか疑問です。
12	C案にするつもりしかないと感じた
13	阿智村を出ても、いつか戻ってきて、村の役に立ちたい、盛り上げたいという人間をつくる。せっかくより良い学校を創ろうとしているのに、みんな出ていっては持続可能な学校はできないと思う。(中間まとめでも意見をしたのですが、あまり反映されていない。
14	学びの多様化学校は、実際関わっている現職の先生たちの意見も聞いてみて欲しい。 義務教育学校が全国に240校あるので、その学校に「やっぱりこうすればよかったです」とか「この施設は別の場所にあつたら良かった(不登校対応で)」とか、そういうこともあると思うので、よく調べて阿智村はより良いものにして欲しい。

※意見公募の締め切りを過ぎ、集約をした後に提出されたご意見につきましては、ここに掲載することができませんでした。ご了承ください。

2 観点別の考察について

1	C案となった場合の評価で、少し雑な印象を受けたところがありました。例えば生徒の居場所づくりの項目、多様な価値観に触れ合える集団の中で自己肯定感を育みやすいという評価は柔軟な考え方ではないような気がします。他にもいくつか、これから課題にするべき評価が散見されます。これらの課題をひとつひとつクリアしていくこそ阿智村での学校のあり方が子どもたちにとって最適な学びとなっていくと思います。 最終答申ができ、こうした課題にしっかりと向き合っていくことで、阿智村の子どもたちが健やかに成長できる環境が整っていくことを願っています。
2	副委員長さんの、少人数ではコミュニケーション能力が劣る！という発言があったように受け取りました 大人数が良で、少人数は劣と決めつけられているようで残念です 20人でも充分少人数の範囲だと思われます
3	C案を希望しますが、各地域を学ぶ授業、地域と子ども達の交流は継続して希望します。合併を選択したのは浪合の人たち自身とは言え、できる限り、地域活性に貢献し、地域交流型の学校であろうとする努力は、吸収合併した阿智村としても責務ではないでしょうか。
4	考察を見てもC案が妥当ですし、素人の私が考えてもC案以外は現実的ではないと思います。
5	総合評価に至る観点別の考察を見てもC案を希望します。
6	A案を、できるだけお願いしたい。浪合の自然の中でノビノビと育てたいのが一番の願いであり、都市部で通学していた人にとっては、変えがたい魅力であり、思い出になると思います。 通学時間が早く、そして長くなる事に対する負担と不安が、特に子供に大きくなる事になると思います。
7	・C案に落とし込むためのA・B案だったので、退屈だった。 ・伏木先生が話してくれた「なぜ統合しなければならないか」「なぜ小中一緒にするのか」の質問的回答が一番わかりやすく興味がわいた。
8	コスト比較のところは、統合により地方交付税が減額されると思うので、その点も入れて比べるともっとフェアだと思う。 地域との関わりの比較で、現状維持、サテライト、統合の順に地域との関わりが薄くなっていくはずだが、統合は○、サテライトは△の評価は、さすがに統合をひいきしそう。
9	わかりやすかったです。
10	C案にされた場合全て○となっているが、地域は一体どう変化していくのか。それで地域(冬)と学校が望ましい姿となっていくのかを考えを知りたい。
11	自治体の予算の中でできる最善策を模索していくと結果的にC案となることがよく分かります。今回のように、財政面の話は必ずセットで提示していくべきです。
12	P8.L11 総合所見についてC案「小学校が統合され地域では……教育活動の展開が求められています」の文について、A案の長所、C案の課題や対策をどう具現化していくのか、住民が理解できるよう見える化することが必要。

※意見公募の締め切りを過ぎ、集約をした後に提出されたご意見につきましては、ここに掲載することができませんでした。ご了承ください。

3 学校のあり方 全般について

	全国的に少子化が進む中で阿智村としてできる教育のあり方を検討委員会の皆さんに真剣に考えてください、とてもありがたいことだと思います。
1	私たちの地区でも地域が現実と向き合い、学校のせいにせず、地域の問題は地域で解決できるようにならなければいけないことを改めて考えさせられました。 子供たちの未来を考えた阿智村の教育に期待をしています。
2	いち保護者として、子供たちのことを考えると一刻も早く統合してもらいたいです。 たとえ統合に反対意見が多かったとしても“浪合=統合に反対の地区”だと思ってほしくないのが正直な気持ちです。統合に大賛成の意見もあるということを分かって頂きたいです。 また、新校舎設立までに時間がかかると思いますが、校舎ができる前に統合して第一小学校に通うというプランはありますか。
3	発熱時などの緊急時に対する考慮が不十分。 家族が迎えに行けない場合などや、教職員が同行できない事も考えられるので、子供だけでも安心安全に移動できる交通手段を確立して欲しい。 保護者会など、車が無い人は参加が厳しい。参加できても、開会に間に合わなかったり、子供だけで留守番をさせなければいけないなど、遠くなると不安も負担も激増すると思う。
4	それぞれの地域から学校がなくなるというのは地域の存亡に関わる一大事だと思っています。 その意識があまりないまま進んでしまう事が怖いです。地域の皆様でよく話し合うためにも、住民投票をしてはいかがでしょうか。 財源に関しては事情が分からず申し訳ありませんが、限界集落になってしまうと言われている阿智村に若い人が増えるために、学校は最優先すべき事の一つではないでしょうか。 優先順位の見直しをお願いしたいです。
5	意見をしたいがまとまらない しっかり考える時間が欲しい
6	清内路に小学校がなくなるのは悲しい。でも、もう前に進まなきやいけないと思った。 統合するしないの話じゃなくて、未来の話をしたい。今の清内路小の良さをできるだけ同じクオリティでつなげていきたい。
7	懇談会で説明をしてくれる人によって、住民の受け止め方が全然ちがった。 伏木先生には、20年くらいは継続的に関わってもらわないと当初やりたかったこととかを守れない。 普通の授業を1000コマ⇒750コマにして、四分の一は地域の時間を作るということだったので安心した。
8	年間で数日間、防災の日や、運動会のとき、新年の門松やおやす作りなどで地域の方との交流機会を得て、つながりにしていくらしいのではないかと思います。
9	今後、子どもの数が減る事はわかっているので統合がいいと思う。
10	・運動会を控えた週の19時からは関心があっても参加しにくく断念しました。保護者が参加しやすい会の設定を望みます。もっともっと丁寧に具体的に説明がほしいし、関心が持てるような働きかけをしてほしいです。 ・A案はないとして、どの案になっても大きな変化があります。実施するまでに丁寧に子どもや先生、保護者や地域の声を丁寧にすりあわせてすすめてください。我が子は直接関係ない(中学以降)話だと思っていたら、ここ数年にはその案でスタートすると聞きました。小学生の不登校は少なく、中学生の不登校が多いのは人間関係や環境の変化も大きいと考えます。中1ギャップへは対応できるのかもしれません、高学年の思春期時期に大きな環境の変化がある子どもたちの対応をどのように考えていくのか教えてほしいです。丁寧な対応が必要の文言だけではわかりません。いつから始まるのか具体的に示し、途中から村内すべてが一緒になる今の保育園や低学年の子どもたちが、不安を感じずに移行できるような誠意ある対応をしてほしいです。

11	<p>・「義務教育学校」について:現在、小学校の統廃合への関心や意識が高くなっています。ただ、もし村内の小中学校が一つの義務教育学校となるなら、中学校もかなりの準備が必要であると考えます。現状の中学校に、小学校を併設するだけでは、義務教育学校とする教育的ねらいが十分に果たされるとは思いません。小学校だけでなく、中学校もどう改革していくか、今後この議論が必要です。</p> <p>・「あち探究学習(仮称)」について:生活科、総合的な学習の時間は、探究的な学びを通して資質・能力を育みます。探究的な学びは、子どもたちの問い合わせや願いが学びの原動力です。気をつけなくてはいけないのが、「体験学習」との違いです。カリキュラムと称して、教員が題材や学習内容を精緻に計画すればするほど、子どもたちの、子どもらしい問い合わせや願いが生まれる余地が少なくなっています。「あち探究学習」が「体験学習」だけとなてしまわないように、「探究的な学び」をどう実現していくか、ここは大切なポイントです。授業は、教員の仕事です。先進地視察や研究委員会等、教員が研修を深められるような環境を考えていく必要があります。</p> <p>・「小学校の統廃合について」:個人的には賛成です。自分の地区から小学校がなくなってしまうのはとても残念なことです。しかし、これから学校で学ぶ子どもたちやその保護者の皆さんことを考えれば、適切な判断だと思うからです。保護者として一番に願うことは、自分の子どもが学校で充実した学校生活を送ってくれることです。学校や校舎がどのような形態になったとしても、そこは変わりません。学校の中でどのような教育活動が展開されるかが最も重要なことであり、その点において、新しい義務教育学校で働く先生方に対し、大きな期待を寄せたいと思います。一人でも多くの優れた先生が「阿智村の学校で働きたい」と思ってもらえるような環境になるよいです。</p> <p>*あり方検討委員会の皆さん、教育委員会の皆さん、役場の皆さん、本当にお疲れ様です。</p>
12	<p>C案について、地域が疲弊するとの意見が出ますが、一つの要因ではあっても疲弊の原因ではないと思います。村全体がもっと関わり対応すべき問題です。「あり方検討委員会」の答申と並行して村側(行政)も、あるべき姿・進むべき姿を示すことが持続可能な阿智村になると思います。</p>
13	<p>今日の地区懇談会で、検討委員会の方たちAIを使用して資料説明されているように、これから時代は今まで大切とされてきた知識や学力はAIを利用すれば誰でも手に入るようになってきています。しかし、AIをいかに効率よく、的確に使いこなせるかは、その人がそれまでにどれだけ様々なことを経験・体験してきたか、また興味(ワクワク・ドキドキしてきたか)を持ってきたかどうかがとても大切になってくると思います。</p> <p>もちろん、たくさんの学校を維持・管理していくことは大人の事情で財政的にはとても厳しいものではあると思います。しかし、多様性がより重視されてきている社会背景の中で、阿智村内にあるそれぞれの素晴らしい歴史や文化などの息づく地域を一つに統合し、画一化していくことは時代に逆行しているとか言いようがありません。他の近隣市町村がどんどん学校を統合していく中、せっかく今まで地域ごとに学校を残してくださっていた阿智村だからこそできる、各地域を大切にした学びの場づくりはこれからとても注目されていくと思います。</p> <p>各地域で地域の方たちに大切に見守られ、その中で自分たちが育ってきた郷土愛を育み、それを抱いて、阿智中へ進学(新たな社会へ出していく)していくことで、様々な価値観に触れ、新たな気付きや発想・想像・創造が起きていくのだと思います。この力こそがこれからの時代を生き抜く大切な力になっていくことは間違ひありません。</p> <p>全国的に少子高齢化していくことは避けは通れない現実ではありますが、それにも逆行して長野県内でも人口の増えている地域もあります。それはこれから時代を担っていく子どもたちをまんなかに据えて、様々な学びの場や居場所、子育て環境が充実している地域がほとんどです。都市部に人口が集中してしまうのは、地方に比べて子育て環境や学びの環境に多様性があり、様々な選択肢があるからではないでしょうか。しかし、阿智村にもこの小さな村の中に多様に学べる5つの学びの場があります。これは他の市町村にはなかなか真似のできないことだと思います。今だからこそ、この特別な環境を生かして、阿智村ならではの特別な学びの環境(阿智スタイル)を発信していく時なのではないでしょうか。</p> <p>最近はせっかく各地域ごとに5校の学校があるのに、地域性が薄れて画一化してしまって、その良さが生かされていないのがとても残念なので、そこを今一度見直して、阿智村だからできる教育、阿智村じゃなきゃできない教育を作っていくほしいと思います。そうなれば、移住者も増えて、財源も増えて、村全体の人口が増えて、活気ある地域になっていくはずです！</p> <p>ぜひ、統合ありき、画一化ありきで話を進めずに、今ある大切ななものに目を向けて検討していただきたいと思います。</p>
14	<p>今現在も、中学校のバス通学がうまく運用されていないように感じます。</p> <p>全校統合されればその範囲は低学年にも及んでくることは必定ですので、今から何らかの対策を講じていく必要があると思います。</p>

15	浪合小学校の校舎、理念、地域の方々、畠や田んぼ、伝統行事などに惹かれて、子供を通わせることにしました。魅力的な小学校が廃校になるという結論になりました。阿智村にとって、廃校の結論は、将来的に損失になることが考えられます。とはいっても、公立小学校ですので、統合、廃校は致し方ないと思いますが、残念です。
16	学童やフリースクールのほか、学校ではない子どもたちの居場所づくりも交えたサポートを包括的に行っていただきたいです。 何より仕組みありきではなく、少人数だからこそ個別対応ができる村であってほしいと願います。
17	浪合の新入生が1名になるのは、1年半後に迫っています。親の立場から、学年の人数が1名以下で、誰が浪合に移住してくれるでしょうか。むしろ、今後の移住をためらう理由になりかねないと考えます。スクールバスで通えるのであれば、何ら問題ないと考えます。新入生が1名になってしまう前に、速やかな1校統合を希望します。
18	10/18の会に参加しました。地区で開催したものにも参加しましたが、今回のグループでの話や質問への回答で知りたかった内容の一部を理解できたと思っています。各学校で保育園、小学生の保護者向けに行われるということですが、どんなに早くても2031年度という話をもっと発信して、小学校低学年、保育園に子どもをもつ親が自分事として聞けるように、再度発信をしてほしいです。 また準備委員会が発足されるとのこと、子どもたちが不安なく移行できるよう丁寧な準備をみんなでしてほしいです。そのためにPTA等でもできることがあるのではないかと思います。行政や学校にだけお任せや意見ばかりではなく、よりよい学校について保護者も関われる体制があるといいなと思います。

※意見公募の締め切りを過ぎ、集約をした後に提出されたご意見につきましては、ここに掲載することができませんでした。ご了承ください。